

「柏崎の橋」 60 坂向橋（西山町藤掛）

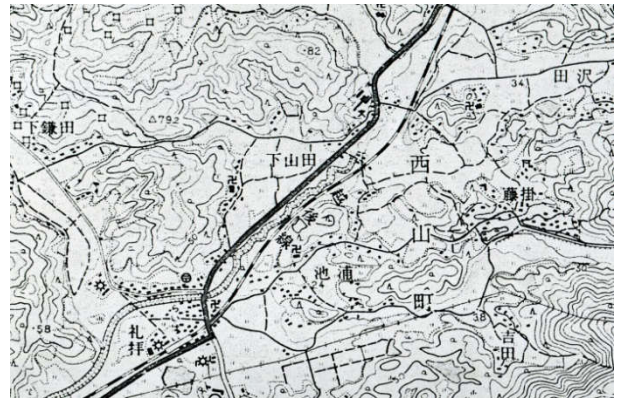
坂向橋は、西山町藤掛地内で国道116号の上を交差する跨線橋であり、藤掛陸橋とも呼ばれている。この橋は昭和57年に、国道116号の西山バイパス（西山町二田～荒谷間3.6キロ）が開通したことによって新設されたものである。柏崎近郊の国道116号バイパスは、昭和60年に出雲崎バイパス、平成15年に和島バイパスが開通し、現在は3つのバイパスが連続している。



坂向橋（柏崎市GISベースマップより）

バイパス開通前は、西山町黒部以北は現在の県道西山寺泊線が旧国道116号であった。つまりJR越後線の礼拝駅以南は越後線の東側を、礼拝駅以北は越後線の西側に沿って国道116号が通っていたため、藤掛地区から国道に出るためには、田沢又は池浦地内の町道（合併前の西山町時代）を通らねばならず、田沢又は池浦地内の町道改修時には、藤掛地区も一部負担をしなければならなかったとのことである。

西山バイパスは、昭和57年11月12日に供用が開始された。これに先立ち開通前に、保育園児、小中学校生、地元住民が初歩きを楽しんだ。また、坂向橋の渡り初めも行われた。



バイパス開通前の国道116号
（国土地理院発行2万5千分の1地形図『西山』
昭和44年発行より）

西山バイパスは大部分が2車線で、開通時には将来の4車線化に備えて、上下線の間と路肩を広く確保したが、現在も西山駅付近を越えた北側は、2車線のままとまっている。

坂向橋は長さ30.3メートル、幅4.5メートルの車道であり、閑静なたたずまいの中に、眼下には対照的に交通量の多い、国道116号を見下ろすことができる。



坂向橋

●参考にした本

『藤掛集落誌』 藤掛集落誌編集委員 編（224 フシ）
『西山町のあゆみ』 西山町役場 編（224 ニシ）
『広報にしやま183号』（昭和57年12月1日発行）
柏崎日報 昭和57年11月6日1面